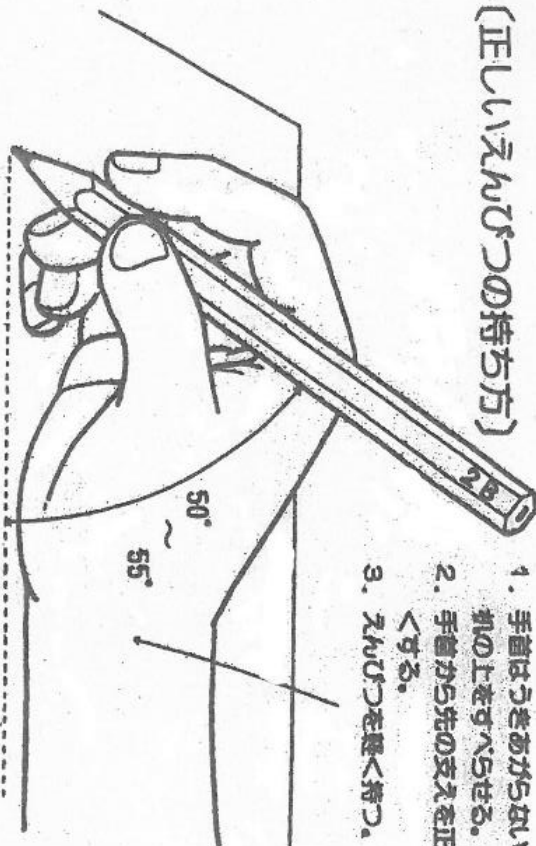


正しいえんぴつの持ち方をチェックしましょう

●えんぴつの持ち方が悪いと、次のように失敗します。

- ①握りがたかれます。
- ②握の屈伸が少なくなるので、のびのびした大きな字が書けません。
- ③書く速度がおそくなりません。
- ④字が見えにくい場合があります。

【正しいえんぴつの持ち方】



1. 手首はうきあがらないで机の上をすべらせる。
2. 手首から先の支えを正しくする。
3. えんぴつを軽く持つ。

4. 指先をそろえて、用紙を軽くおさえる。
5. えんぴつの先が、右腕の前あたりにくるように、ノートを動かす。
6. 背すじをのばす。



【えんぴつを持つ時おちいりやすい10の失敗】

<p>①</p> <p>●人さし指に無理な力が入っている。</p>	<p>⑤</p> <p>●四本の指で持っている。</p>
<p>②</p> <p>●親指の位置が悪い。</p>	<p>⑦</p> <p>●二本の指で持っている。</p>
<p>③</p> <p>●親指と人さし指がついていない。</p>	<p>⑧</p> <p>●けすたどころを持っている。</p>
<p>④</p> <p>●人さし指を強くおさえている。</p>	<p>⑨</p> <p>●親指のつけ根に入っている。</p>
<p>⑤</p> <p>●指をのばして持っている。</p>	<p>⑩</p> <p>●握りかたむきが悪い。</p>